

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	桂川・支川対策特別委員会	会議場所 第2委員会室	
		担当職員 三宅	
日 時	平成27年3月16日(月曜日)	開 議	午後 1 時 00 分
		閉 議	午後 1 時 10 分
出席委員	木曾利廣、 菱田光紀、 齊藤一義、 藤本弘、 湊泰孝、 明田昭、 堤松男		
出席理事者			
出席事務局	三宅		
傍聴者	市民 名	報道関係者 名	議員 名

会 議 の 概 要

13:00

[事務局説明]

年長委員を臨時委員長として、委員会を開会し、新委員長の選出を行っていただく。
年長委員の明田委員、委員長席へ。

[明田臨時委員長 委員長席へ移動]

< 明田臨時委員長 >

ただ今から開会する。新委員長が選出されるまでの間、議事を進めさせていただきます。
よろしく願います。

1 正副委員長の互選について

< 明田臨時委員長 >

これより委員長の互選を行う。選挙の方法については、会議規則第126条の規定
により、投票又は指名推選による。どちらの方法で行うか。ご意見を。

< 湊委員 >

指名推選で。

< 明田臨時委員長 >

指名推選により行うことに異議はないか。

(異議なし)

< 明田臨時委員長 >

異議なしと認め、選挙の方法は指名推選とする。

それでは、私から指名したいと思うが、これに異議はないか。

(異議なし)

< 明田臨時委員長 >

異議なしと認め、木曾委員を委員長に指名する。これに異議はないか。

(異議なし)

< 明田臨時委員長 >

異議なしと認め、よって木曾委員が委員長に当選された。

[木曾委員長 委員長席へ移動]

< 木曾委員長 > あいさつ

< 木曾委員長 >

次に、副委員長の互選を行う。選挙の方法について、投票又は指名推選のどちらの方法で行うか。ご意見を。

< 湊委員 >

指名推選で。

< 木曾委員長 >

指名推選により行うことに異議はないか。

(異議なし)

< 木曾委員長 >

異議なしと認め、選挙の方法は指名推選とする。

それでは、私から指名したいと思うが、これに異議はないか。

(異議なし)

< 木曾委員長 >

異議なしと認め、菱田委員を副委員長に指名する。これに異議はないか。

(異議なし)

< 木曾委員長 >

異議なしと認め、よって菱田委員が副委員長に当選された。

[菱田副委員長 副委員長席へ移動]

< 菱田副委員長 > あいさつ

2 設置目的等について

設置目的：日吉ダムの運用並びに桂川及びその支川の総合的な治水・利水対策の推進を図る。

活動内容

< 木曾委員長 >

次に設置目的については、記載のとおりであるので確認願う。

活動内容について、前期においては、例年まず5月に、桂川改修事業の進捗状況及び今後の見通し等について執行部の説明を受け、現地調査等を実施することを基本としてきたが、今期においては、どのように活動するか意見はないか。

< 堤委員 >

まずは例年通り、5月に河道整備の進捗状況等について担当課の説明を受け、現地調査等を行ってはどうか。

< 明田委員 >

時期に応じて京都府からの説明も受けたいと思うが。

< 木曾委員長 >

京都府との調整が必要なため、今後検討していきたい。

< 湊委員 >

昨年は災害を受け、下流域管轄の淀川河川事務所へ視察調査を行った経過がある。掘削等が進められているが全体としては大きな変化はない。

< 木曾委員長 >

以上の意見を踏まえ、改修状況の調査を行うことを基本としていきたい。

< 藤本委員 >

支川の整備状況も合わせて京都府からの説明を求めたい。

< 木曾委員長 >

それも合わせて検討することとし、調査を進行していきたい。

< 堤委員 >

具体的には、犬飼川、願成寺川、桂川の合流地点の今後の対応策について、現地調査を行い京都府からの説明を求めたい。今後の検討課題とされたい。

< 木曾委員長 >

指摘の箇所は今後の大きな課題であるので、それも含めて調査していくこととする。まずは、例年通り執行部の説明を受ける機会を持ち、その後の検討としていくこととしたいが、それでどうか。 < 了 >

3 閉会中の継続審査申し出について

< 木曾委員長 >

次に、閉会中の継続審査の申し出については、別紙のとおり申し出ることに異議はないか。

(異議なし)

< 木曾委員長 >

それでは、このとおり申し出ることとする。

今後、委員会運営についてご協力のほどよろしく願います。

これにて散会とする。

散会 ~ 13 : 10